

2026年4月23日

各 位

## ヘルスケア事業の進化に向けたAIロボット導入体制の構築について ～医療情報システム・医療DXの知見を活かしたフィジカルAIロボット事業への貢献～

株式会社イメージワン（本社：東京都品川区、代表取締役：川倉 歩、以下「当社」）は、2026年1月に新設した「AI戦略グループ」主導のもと、abc株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：松田 元、東証スタンダード市場：8783、以下「abc社」）との業務提携に基づく施策として、既存のヘルスケア事業領域におけるフィジカルAIロボットの導入支援について検討を進めることをお知らせいたします。

### 1. 背景・目的

当社はこれまで、医療情報システム（PACS）等の提供を通じて、医療現場の課題解決に取り組んでまいりました。昨今、医療・介護現場における深刻な人手不足が社会課題となる中、AI戦略グループは既存ヘルスケア事業の枠組みを活かした実効性の高いソリューションを検討してまいりました。

今般、当社が長年培ってきた医療DX分野の実績と、abc社が推進するフィジカルAIロボット事業（BMI技術活用）を融合させることで、医療現場での薬品識別・運搬等の自動化等の検討を進めてまいります。



※画像はイメージです。

※ブレインマシンインターフェイス（BMI：Brain Machine Interface）とは、脳と機械を接続する技術のことです。脳科学とITを融合した技術「ブレインテックという分野のひとつであり、海外ではブレインコンピューターインターフェイス（BCI：Brain Computer Interface）と呼ばれることもあります。」

### 2. 本件における当社の役割

本件においては、abc社及びロボットの提供元である株式会社ビッグハンズ（所在地：東京都千代

田区、代表：潘 若衛）と共に、検討を進めてまいります。当社の強みである既存の医療機関ネットワークと信頼関係を最大限に活用し、現場のニーズに応じた最適な導入手法を模索してまいります。最先端技術であるフィジカルAIロボットを早期に社会実装するための提供形態や、運用支援サービスの構築を推進してまいります所存です。

### 3. BMI技術に対する見解

BMI技術は、脳と機械を接続する次世代インターフェースであり、医療・リハビリ領域に留まらず、遠隔操作や作業支援など幅広い産業応用が期待されています。BMI技術が、当社の医療DX領域における競争優位性をさらに高めるのみならず、将来的にフィジカルAI・ロボティクス市場という新たな成長分野へ進出していくための重要な足掛かりになるものと考えております。

### 4. 今後の展開

本件は、当社が掲げる「ソリューション&インフラ企業への進化」を、既存事業の延長線上で具体化する重要なステップです。AI戦略グループの主導により、ロボット・AI技術を医療現場に提供できるよう、検討を進めてまいります。

本件による当期業績への影響は軽微であります。

#### 【会社概要】

所在地：東京都品川区大崎 1-6-3 大崎ニューシティ 3号館 6F

代表者：代表取締役社長 川倉 歩

事業内容：ヘルスケアソリューション事業、地球環境ソリューション事業

公式サイト：<https://www.imageone.co.jp/>

IR note：[https://note.com/imageone\\_2667/all](https://note.com/imageone_2667/all)

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社イメージワン

<https://www.imageone.co.jp/inquiry/maas/>

以 上